

2025年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
233112108	教育制度論 Theory of Public Education System	服部 壮一郎			2	選択	1後期

科目の概要

すべての国民の「教育を受ける権利」を保障することを目的に成立した教育に関する法制度の理念と内容を学ぶ。授業の前半では、学校体験を振り返りながら、「子どもの権利」の視点から日本の教育法制の理念と仕組みを学ぶ。授業の後半では、最近のニュース（不登校児の増加、教師の多忙化、こども家庭庁の設置など）に触れ、学校教育の課題に対する解決策を考える。DP2及びDP7に記される「自立した社会人として、常に自己研鑽に取り組み、自らの可能性を高めて社会に貢献することができる」教員の養成を目指すための科目である。

学修内容	到達目標
① 具体的な事例に即して教育制度の理念を学ぶ。 ② 公教育が成立した歴史的意義を学ぶ。 ③ 教育制度に着目して学校教育の今日的課題を考える。 ④ 教育実践と教育制度の相互関係について考える。	① 日本の教育制度の理念と仕組みを説明することができる（DP2, 7）。 ② 戦後教育改革の意義と課題を説明することができる（DP2, 7）。 ③ 教育制度に着目して学校教育の今日的課題を述べるることができる（DP2, 7）。 ④ より良い教育実践につながる教育制度を考案することができる（DP2, 7）。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
前に踏み出す力	主体性	自分の関心を知り、授業に臨む。
	働きかけ力	
	実行力	授業で学んだ内容を整理する。
考え抜く力	課題発見力	講義内容をもとに学校教育の課題を認識できる。
	計画力	
	創造力	自分の意見を持ち、教育制度の問題点を指摘することができる。
チームで働く力	発信力	自分の考えを言葉にまとめ、整理することができる。相手に伝わるように丁寧に説明することができる。
	傾聴力	グループ討議では、ほかの学生の意見をしっかり聞くことができる。自分がわからなかった点について丁寧に聞き返すことができる。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	遅刻、無断欠席など、学習意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト：使用しない。
 参考文献：①川口洋誉・古里貴士・中山弘之編著『未来を創る教育制度論【新版】』北樹出版、2020年。②勝野正章・庄井良信『問いからはじめる教育学』有斐閣、2017年。

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：「教職入門」、「教育原理」
 資格との関連：栄養教諭

学修上の助言	受講生とのルール
具体的な事例に即して考えることで難しい法制度の理念と仕組みを理解することができる。	授業は集中して聞き、疑問がある場合は積極的に質問すること。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標				各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	90	①	✓			筆記試験は穴埋め式および課題解決型の記述式問題によって行う。 ①②は資料を読み取り、まとめることができるか。講義を聞いて、理解することができるか。 ③④は③④は授業や調べ学習で獲得した知識・情報を活用し、現代の学校教育が抱える課題に対する教育制度的な解決策を論理的に示すことができる。
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
	平常評価	小テスト	0	①				
				②				
				③				
				④				
		レポート	0	①				
				②				
				③				
				④				
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	0	①				
				②				
				③				
				④				
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			（主体性）自分の関心を見つけられるか。 （実行力）リアクションペーパーに自分の理解をまとめられているか。 （課題発見力）学習内容と現実の課題を結びつけることができるか。 （想像力）現実の課題に対して自らの考えをまとめることができるか。 （発信力）自分の意見を言葉にすることができるか。 （傾聴力）他の学生の意見を理解することができるか。 （規律性）遅刻、無断欠席など学習意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。	
			②	✓				
			③	✓				
			④	✓				
総合評価割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
到達レベルS（秀）：優（A）の到達レベルに加え、社会人基礎力を習得できている。 到達レベルA（優）：戦前と戦後の教育理念の違い、国民の「教育を受ける権利」を保障するための基本的な制度体系を理解し、学校教育の現代的課題に対する自分の考えを論理的に述べるができる。	到達レベルB（良）：到達レベルAには達しないものの、教育制度に関する基礎的な専門知識・用語を理解し、学校教育の現代的課題に対して自分の考えをもつことができる。 到達レベルC（可）：教育制度に関する基礎的な専門知識・用語を理解している。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
1	ガイダンス（講義のねらいと概要） 教育制度と子どもの権利 ～学校体験を振り返ってみよう～	講義 リアクションペーパーの記述にコメントし、フィードバックする。	教育制度の意義と子どもの権利条約の重要な点が理解できる。	（予習）シラバスを読み、講義のねらいと内容を理解する。自らの学校体験を振り返り、その意義を考える。 （復習）子どもの権利条約の特徴をまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
2	教育法のしくみと教育内容の制度 ～教育制度の法律主義と不文法～	講義 リアクションペーパーの記述にコメントし、フィードバックする。	教育法の体系と基礎用語が理解できる。	（予習）現行学習指導要領の内容を調べておく。 （復習）教育課程を編成する仕組みをまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3	公教育の原理 ～義務の「義務」ってどういうこと？～	講義 リアクションペーパーの記述にコメントし、フィードバックする。	戦前と戦後の教育理念の違いを説明できる。	（予習）教育基本法に規定する教育の目的・目標を調べる。 （復習）義務教育における権利・義務関係を整理する。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4	学校教育の制度 ～「法律に定める学校」には何がある？～	講義 リアクションペーパーの記述にコメントし、フィードバックする。	日本の学校体系および不登校児童・生徒への対応などの現代的課題について理解できる。	（予習）いじめ・不登校に関するニュースを調べておく。 （復習）一条校の抱える問題に対する自分の考えをまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5	教育の機会均等 ～教育機会の保障と「子どもの貧困」～	講義 リアクションペーパーの記述にコメントし、フィードバックする。	教育の機会均等の理念および「子どもの貧困」の問題について知る。	（予習）「子どもの貧困」に関するニュースを調べておく。 （復習）教育の機会均等の実現に向けた課題をまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6	教職員と教育行政の制度 ～教育の自由とその制約～	講義 リアクションペーパーの記述にコメントし、フィードバックする。	教職員の専門性および地位を担保する制度理念を理解する。	（予習）教員という職業の特性について、自分の考えをまとめる。 （復習）教員の専門性を担保する制度についてまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7	学校運営のしくみ（１） ～地域とのつながりと連携～	講義 リアクションペーパーの記述にコメントし、フィードバックする。	学校の現状について知り、「開かれた学校づくり」の意義を理解する。	（予習）学校と関係する公的機関を調べておく。 （復習）プリントを再読し、具体的な事例への対応を考える。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8	学校運営のしくみ（２） ～こんなときどうする？安全管理と事故対応～	講義 リアクションペーパーの記述にコメントし、フィードバックする。	学校安全に関する事例を知り、対応方法について理解する。	（予習）自らの経験やニュースから、学校事故の事例を調べておく。 （復習）筆記試験に向けて、専門用語を暗記するとともに、教育制度の現代的課題に対する自分の考えをまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力